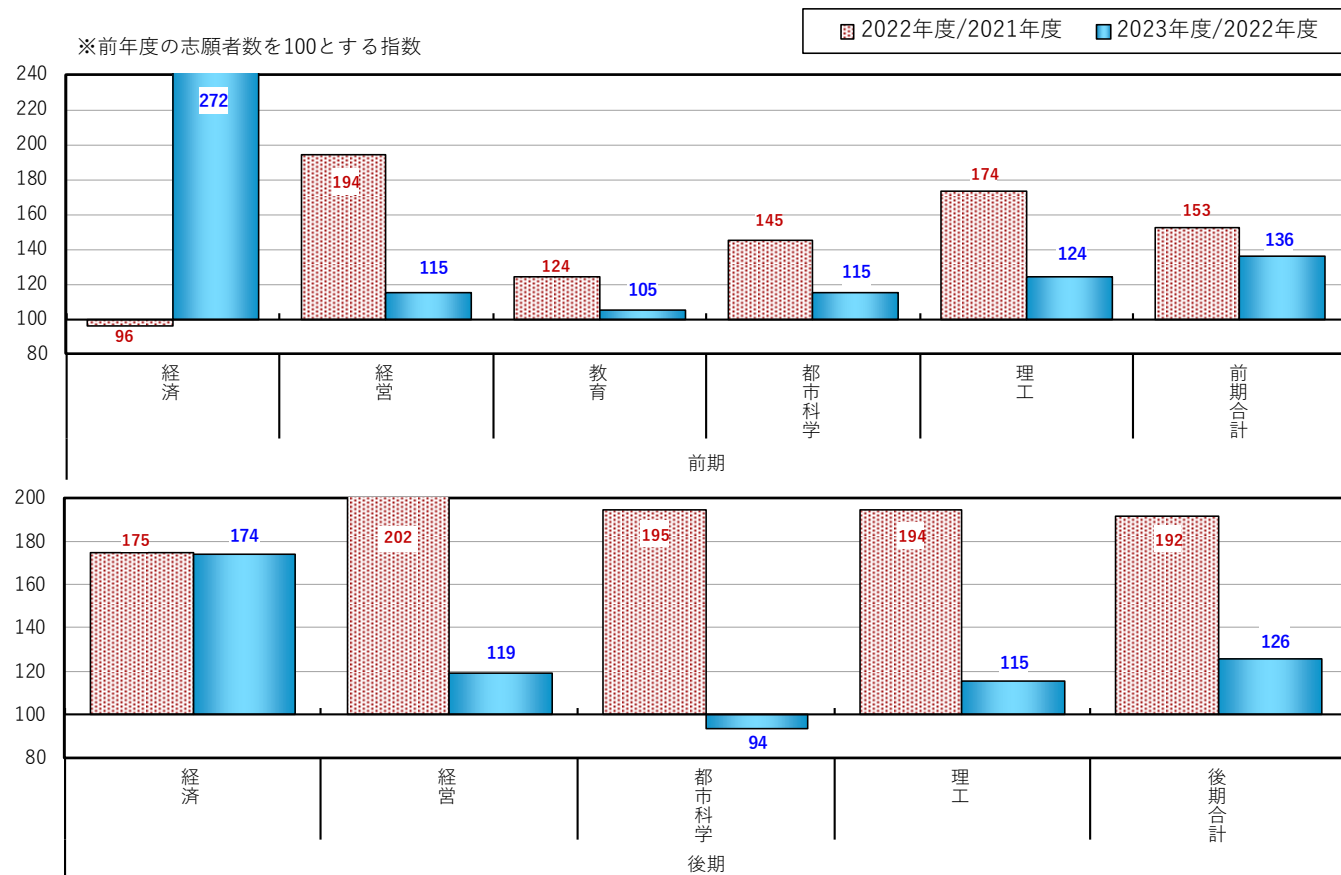


横浜国立大：前後期のいずれも 2 年連続大幅増加

前期：+1,027 人 後期：+1,144 人



主な入試変更点

選抜方法：経済(経済/LBEEP)…後期日程新規実施
 第1段階選抜：理工<前>…新規実施、実施基準は募集人員の約6倍
 (募集人員は学科募集人員、ただし化学・生命系はEP募集人員)
 理工<後>…新規実施、実施基準は募集人員の約8倍
 (募集人員は学科募集人員、ただし化学・生命系はEP募集人員)
 募集人員：経済(経済/DSEP)…<前>5人→10人、<後>5人→10人
 経済(経済/LBEEP)…<前>10人→10人、<後>0人→5人
 共通テスト：理工(化学・生命系)…理の選択から地学除外
 国+歴公+数2+理2+外 ※理:(物 or 化 or 生 or 地学)→2 → 国+歴公+数2+理2+外 ※理:(物 or 化 or 生)→2
 理工(数物・電子情報系、機械・材料・海洋系)…理の選択から生、地学除外
 国+歴公+数2+理2+外 ※理:(物 or 化 or 生 or 地学)→2 → 国+歴公+数2+理2+外 ※理:物+化
 個別試験：教育<前>…規定なし→共テと個別試験の総得点が合格最低点に達していても面接の結果によって不合格とする

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では前年度の激増に引き続き2,171人(130)の大幅増加、志願者数は9,500人に迫り、コロナ禍対策として概ね個別試験実施なしとなった影響で前年度比45%減少した2021年度入試との比較では、約2.3倍増。2021年度の大規模減少の反動が継続したことに加えて、横浜地区の鉄道新線開通による交通の利便向上も影響。日程別でも、前期は1,027人(136)の2年連続大幅増加、後期も1,144人(126)の大幅増加で前年度のほぼ倍増に引き続き2年連続増加。コロナ禍以前の2020年度比でも、大学全体では1,890人(125)の大幅増加、前期は1,040人(137)の大幅増加、後期も850人(118)の大幅増加だった。

<前期日程>

- 経済(272)**は、4年連続減少の反動で約2.7倍増。志願倍率も2.4倍→6.3倍にアップ。募集単位別では、(経済/一般)(264)は約2.6倍増、人気の高い「情報処理・統計分析能力の育成」を謳っている(経済/DSEP)(555)は募集人員が倍増したことも加わって5倍増以上、(経済/LBEEP)(227)も約2.3倍増。
- 経営(115)**は、コロナ禍以前も個別試験はなく、前年度から新たに個別試験を実施。前年度にほぼ倍増で2年連続大幅増加だった反動はなく、さらに大幅増加。志願倍率も4.6倍→5.3倍にアップ。募集単位別では、(経済/一般)(112)は3年連続増加、人気の高い「情報処理・統計分析能力の育成」を謳っている(経営/DSEP)(185)は2年連続激増。
- 教育(105)**は、課程・コース・領域の大規模改組が行われて3年目だが、学部全体ではやや増加で2年連続増加。募集単位別では、増加が3募集単位、減少が4募集単位。増加した募集単位は全て大幅増加で、特に(学校教員養成/芸術・身体・発達支援系教育-心理学)(168)は激増。一方で減少した募集単位では、(学校教員養成/芸術・身体・発達支援系教育-保健体育)(33)は前年度の3分の1の激減、(学校教員養成/芸術・身体・発達支援系教育-美術)(60)の大幅減少が目立った。
- 都市科学(115)**は、2年連続大幅増加。学科別では、(環境リスク共生)(147)は2年連続減少の反動で大幅増加、(建築)(114)は前年度約2.3倍増の反動はなく増加。(都市基盤)(113)は2年連続増加。一方で、(都市社会共生)(94)はやや減少だが、前年度大幅増加の反動は小さかった。

○**理工(124)**は、前年度激増に引き続き大幅増加。学科・教育グループ(EP)別では、(化学・生命系/化学・化学応用)(96)が唯一やや減少だが、前年度約 2.6 倍増だった反動は小さかった。これを除く 8 つの学科・教育グループ(EP)はいずれも増加。特に目立ったのは、(機械・材料・海洋系/材料工学)(250)が前年度 45%減少の反動で 2.5 倍増。(化学・生命系/バイオ)(176)が前年度の大幅増加に引き続き激増。

<後期日程>

- 経済(174)**は、2 年連続で激増、志願倍率は 6.8 倍→11.8 倍→18.3 倍にアップ。特に、人気の高い「情報処理・統計分析能力の育成」を謳っている(経済/DSEP)(246)は前年度大幅増加に引き続いて約 2.5 倍増、志願倍率は 9.2 倍→11.3 倍にアップ。
- 経営(119)**は、前年度の倍増以上に引き続き大幅増加。特に、人気の高い「情報処理・統計分析能力の育成」を謳っている(経営/DSEP)(155)は 2 年連続大幅増加で、志願倍率も 21.3 倍→33.0 倍にアップ。
- 都市科学(94)**は、前年度ほぼ倍増だった反動は小さくやや減少。学科別では、4 学科中 3 学科が増加。(環境リスク共生)(266)は前年度の志願者数 3 分の 1 の激減だった反動で、約 2.7 倍増。一方で、(都市社会共生)(39)は前年度ほぼ 3 倍増だった反動でほぼ 60%の激減。
- 理工(115)**は、前年度のほぼ倍増に引き続き大幅増加。学科・教育プログラム(EP) 別では、(化学・生命系/化学・化学応用)(82)が前年度倍増以上の反動で大幅減少だったが、これを除く 8 つの学科・教育グループ(EP)は増加。特に、(化学・生命系/バイオ)(205)は 2 年連続倍増以上、(数物・電子情報系/物理工学)(152)は前年度の倍増以上に引き続き大幅増加。